みやぎの木づかい運動

みやぎ材利用のススメ

〈みやぎ材活用事例集〉VOL.19

宮城県

みやぎの木づかい運動
～みんなで使おう「みやぎの木」～

宮城県は県土の約60%が森林であり、緑豊かな県です。森林には木材やきのこなどの林産物の供給のほか、水資源のかん養、災害の防止など多くの役割があります。さらに近年では、光合成により大気中の二酸化炭素を吸収・固定する働きから、地球温暖化防止の観点からも森林の大切さが国際的に重要視されています。県内の豊かな森林を守り、カーボンニュートラルの実現に貢献するためには、木材を積極的に活用し、「**伐って、使って、植える**」という森林資源のサイクルを作ることがとても大切です。県民のみなさまへ「みやぎの木」に触れていただく機会をたくさんつくり、県産材の利用促進を図るため、様々な支援やPR活動を行っています。

みやぎの木づかい運動シンボルマーク

みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

みやぎの「木育」活動

宮城県は、さらなる森林保全や林業振興を進めるため、これまで以上に「木育」活動の普及を推進していきます。

「木育（もくいく）」とは？

「木育」とは、子どもをはじめとするすべての人が、「木と触れ合い、木に学び、木と生きる」取組を通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる、豊かな心を育むことを目的としています。木と五感で触れ合うことを通じて、人や自然に対する「思いやり」や「優しさ」を育むことや、身近な人や木で遊び、木に学び、モノを作る経験を通じて楽しさや喜びを共感し、地域や社会、産業への関心に繋げることを目指しています。

県内7か所にある各地方振興事務所（地域事務所）でも、森林の大切さを伝える取組やみやぎの木をつかった木工体験などを行っています。

みんなで広げる「木育」活動推進事業

民間団体などが行う木育活動に対して、経費の一部に対して支援しています。

みんなで楽しむ！みやぎの木で木育体験

民間企業をはじめとして、より多くのみなさまに木育の輪を広げるため、商業施設でのイベントやブース出展を積極的に行いました。

イオンモール新利府北館

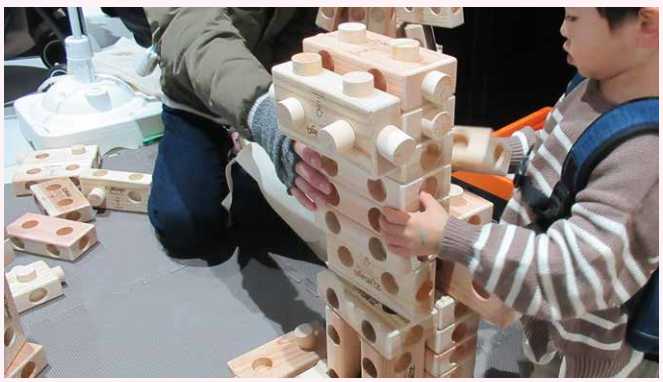
昨年度に引き続き、イオンモール新利府北館さま、南三陸YES工房さまと連携して木育イベントを開催しました。

2024ガスフェア

みやぎのスギの木を使ったにゃんコースターつくり体験を実施。やすりで磨くほどスギの香りは増し、多くの方に木の温もりを感じていただきました。

みやぎゼロカーボン大作戦

FSC認証材でもある南三陸杉で製作した「ズレンガ」で遊びながら、環境問題の解決に欠かせない森林の役割についてお伝えしました。



みやぎ木づかい月間

宮城県では、毎年9月から11月までを「木づかい月間」と定めて、木材利用の促進に関する様々な取組を行っております。

みやぎ木づかい表彰～県産材利用促進功労者表彰～

宮城県産材の積極的な供給や利用、またはその利用拡大に顕著な功績のあった個人や団体に対して「県産材利用促進功労者（木づかい表彰）」として、感謝状を贈呈しております。令和6年度は、「有限会社青山ビル」、「七ヶ宿町」の2団体を表彰し、令和6年11月22日（金）に森林づくり・木づかい表彰式にて感謝状をお渡ししました。

木づかい表彰式の様子
（右から1番目：七ヶ宿町、2番目：有限会社青山ビル）

青山ビルの内装

第17回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール

かけがえのない森林を引き継ぐため、後世を担う子ども達に森林や木材の良さを知ってもらうことをねらいとして、毎年、みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクールの後援を行っております。今年度は、県内の小・中学校から合計172点もの応募があり、小学校低・中・高学年及び中学校の部門ごとに審査し、計19点について入賞となりました。令和6年10月19日（土）には、宮城木材文化ホールにおいて表彰式が行われました。なお、最優秀賞（県知事賞）を受賞した作品については、全国大会に出展されます。

小学校高学年の部最優秀賞作品

小学校低学年の部入賞者の皆さん

県産材利用サステナブル住宅普及促進事業（新築住宅支援）

地球温暖化防止や林業・木材産業等の活性化を促進するため、県産材を一定以上使用した新築住宅の構造材や内装木質化へ支援を行っています。

01 S邸

- 所　在　地／塩竈市
- 延べ床面積／112.61㎡
- 木材使用量／構造：19.13㎥（うち県産材14.45㎥）
- 特　　徴／S様とは、住まいで使う木材を一緒に伐採する「伐採式」も企画しました。デザイン、性能、品質だけではなく、家づくりの思い出もしっかりつくりながら楽しんでいただけたと思います。

02 U邸

- 所　在　地／仙台市太白区
- 延べ床面積／53.52㎡
- 木材使用量／構　造：15.72㎥（うち県産材14.5㎥）
  内　装：1.3㎥（うち県産材1.3㎥）
  木製品：0.8㎥（うち県産材0.8㎥）
- 特　　徴／古くなった母屋から移り住むための小さな個人住宅。天井、壁、床、建具、造作家具などに木材を用いて、日常の生活やちょっとした所作に楽しみが感じられる住宅としました。

03 T邸

- 所　在　地／宮城郡松島町
- 延べ床面積／140.76㎡
- 木材使用量／構造：24.9㎥（うち県産材16.7㎥）
- 特　　徴／子育てを終え、夫婦二人の時間を過ごす平屋＋2階の住まい。断熱等級7の性能と随所に使われた20種もの木の工夫は、これからの暮らしに寄り添い、永く愛される安らぎへ。

県内外における宮城県産材のPR

みやぎの木製品展2024

県民のみなさまにみやぎの木製品をPRする場として、県庁18階の県政広報展示室にて「みやぎの木製品展2024」を開催しました。合計10団体さまに出展いただき、約500人の方に来場いただきました。

首都圏での展示

東京ビックサイトで開催された「JAPAN ReWOOD」「WOOD COLLECTION2024 plus」に出展し、宮城県産材をPRしました。新宿パークタワーに常設されている「MOCTION」でも宮城県産材を使った製品やサンプルを展示し、情報提供を行っております。

WOODコレクション2024「JAPAN ReWOOD」
令和6年8月17日~18日　出展者：南三陸森林管理協議会、登米市森林管理協議会

MOCTIONセレクト展
令和6年6月20日~7月2日

「WOOD COLLECTION2024 plus」
令和6年12月19日~20日　出展者：宮城県CLT等普及推進協議会

「みやぎの木」を活用した建築物の施工例

県内にはみやぎの木を使って建築された建物がたくさんあります。新しい社屋や事務所を地元の木をふんだんに使って建ててみませんか。すでにお持ちの施設にも、木々の温かみを感じる空間を取り入れてみませんか。みやぎの木での建築に興味のある方は、林業振興課みやぎ材流通推進班までご相談ください。

01 七ヶ宿町関保育所

- 事　業　者／七ヶ宿町
- 所　在　地／刈田郡七ヶ宿町字瀬見原102
- 延べ床面積／686.45㎡
- 木材使用量／222.04㎥(うち県産材使用量210.70㎥)
- 特　　徴／七ヶ宿町は町の面積の90%以上が森林で木材資源が豊富であることから、建築にあたっては木材使用量の78.1%に相当する173.43㎥に七ヶ宿町産材が使われました。施設の設計については、構造材だけでなく、内装材にも可能な限り木材が使用され、天井面にも木部を表すなどの設計がなされました。これにより、施設を利用する園児や保護者、保育園で働く職員が木の香りや木の安らぎ、木の温もりを感じられる、温かみのある空間となりました。

02 岩出山上川原町住宅

- 事　業　者／大崎市
- 所　在　地／大崎市岩出山字上川原町95-1
- 延べ床面積／1,360.95㎡
- 木材使用量／413㎥(うち県産材使用量394.11㎥)
- 特　　徴／本施設は、木造2階建て19戸の公営住宅で、構造材には県産材を始めとする地域産材をふんだんに使用しており、温もりのある建物となっています。なお、使用している県産材のうち、約7割を大崎市産のスギが占め、地域の森林資源の循環利用にも貢献しています。

03 手倉田くじら保育園

- 事　業　者／社会福祉法人くじら
- 所　在　地／名取市大手町二丁目2-5
- 延べ床面積／751.58㎡
- 木材使用量／218.42㎥(うち県産材使用量133.73㎥)
- 特　　徴／CLTを採用することで、構造上強度のある無柱の大空間をつくることができるため、園児の死角をなくし、自由に走り回れる広い空間を実現しました。CLTで燃え代設計を用いることで、CLT木部をそのまま仕上げとして使用できました。その木空間(構造)は日常では体験できないものとして、好奇心や探究心を発揮できます。更に県産材を使うことにより、運営法人の「願い(地域を愛する)と思い(地域と笑顔でつながりたい)」にリンクさせています。

※令和5年度みやぎCLT普及促進事業活用施設です。

04 おながわ海岸広場SAUNA&CABINS

- 事　業　者／女川みらい創造株式会社
- 所　在　地／牡鹿郡女川町海岸通り6-1
- 延べ床面積／桟橋キャビン：9.17㎡、PENTAキャビン：8.36㎡
- 木材使用量／桟橋キャビン：8.96㎥(うち県産材使用量6.78㎥)、PENTAキャビン：6.22㎥(うち県産材使用量6.22㎥)
- 特　　徴／「桟橋キャビン」(写真左)は木造軸組構法の切妻型の形態で、DLTを構造体として活用し、内部の仕上げにもDLTが視認できるように計画しました。「PENTAキャビン」(写真右下)はその自由な造形をCLTパネルを構造体にすることで実現しており、組み立てたCLTパネルがそのまま内装仕上げとして活かされています。

※令和5年度みやぎCLT普及促進事業活用施設です。

05 里山エスクエラ

- 事　業　者／株式会社ユーロバス
- 所　在　地／宮城県柴田郡川崎町支倉塩沢9 イーレ!はせくら王国
- 延べ床面積／131.25㎡
- 木材使用量／1.67㎥(うち県産材使用量1.10㎥)
- 特　　徴／香りの良い宮城県産のスギを中心に、子どもの安全を第一に考え、大人も安らぎを感じる心地よい空間を目指しました。黒板や大きな窓など、元小学校の校舎の特徴を生かしながら、川崎町の里山の暮らしをイメージした広場を宮城県産の木をふんだんに使い表現しました。木の玉の温泉からは実際の山の景色も楽しめます。

※令和6年度みんなで広げる「木育」活動推進事業活用施設です。

宮城県産材を使いたい方へ
県補助金のご案内

県では、多くの方に宮城県産材を活用していただくため、「みやぎ環境税」を活用した補助事業を実施しています。

「みやぎの木」で住宅を新築・リフォームしたい方へ

県産材利用サステナブル住宅普及促進事業

⑴ 新築住宅支援（募集件数：400件程度）
県内に自ら居住する一戸建て新築木造住宅を建築する建築主への補助です。
①主要構造部材等
柱や梁などの主要構造部材等に宮城県産材を使用し、木材使用量や施工業者等、一定の要件を満たした場合に宮城県産材使用量に応じた金額を補助します。
②内装木質化及び木製品配備等
主要構造部等の要件を満たした上で、壁や床などの内装等にも県産材を使用する場合、木材費等に応じた金額を補助します。
⑵ 住宅リフォーム支援（募集件数：11件程度）
県内の木造住宅を増改築等する建築主への補助です。
主要構造部材や内装等に宮城県産材使用し、木材使用量や施工業者等、一定の要件を満たした場合に宮城県産材使用量に応じた金額を補助します。

※すべて先着順となりますので、ご了承ください。　※令和7年3月時点での情報です。詳細は下記お問合せ先までご連絡ください。

建物等にCLT等を使ってみたい方・CLTの新たな製品を開発したい方へ

みやぎCLT等普及促進事業

⑴ CLT等建築支援事業
CLT等の購入や、関連する木工事に係る経費の一部を補助します。
⑵ CLT等活用技術開発支援事業
県産CLT等の新たな活用技術や工法の開発や、定規格（ユニット）化した製品の開発等を目指す方の試験研究に係る費用や知的財産の取得費などを補助します。

※令和7年3月時点での情報です。詳細は下記お問合せ先までご連絡ください。

みやぎの木で「木育」を広めたい方・施設を木質化して「木育」したい方へ

みんなで広げる「木育」活動推進事業

⑴ 木育活動支援（募集件数：4件程度）
宮城県の森林・林業・木材産業の普及啓発につながる木育活動を行う民間事業者等に対して、木育活動に係る費用の一部を補助します。
⑵ 内装木質化・木製品配備等支援（募集件数：2件程度）
宮城県内の民間施設等に、県産木材を用いた木質空間整備に係る費用と、その整備した民間施設で木育活動を実施する際に係る費用の一部を補助します。

※令和7年3月時点での情報です。詳細は下記お問合せ先までご連絡ください。

みやぎ2025 第48回 全国育樹祭
次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

宮城県で初開催！
お手入れ行事 令和7年10月4日
式典行事 令和7年10月5日

宮城県水産林政部 公式インスタグラム
みやぎの水産業・林業の情報を発信中
UMIYAMAHITO.MIYAGI

お問い合わせ先
宮城県 水産林政部 林業振興課 みやぎ材流通推進班
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1　TEL：022-211-2912　FAX：022-211-2919
ホームページ：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/　E-mail：rinsinf@pref.miyagi.lg.jp

VEGETABLE OIL INK この印刷物は環境に優しい植物油インキを使用しています。
※この冊子は、みやぎ環境税を活用して作成しています。
※この冊子の印刷に伴い排出された温室効果ガスは、宮城県内の森林整備により創出されたJ-BERクレジットによりカーボン・オフセットされています。
※この冊子は、再生紙を使用しています。　※この印刷物は2,000部作成し、1部あたりの単価は89.4円です。
令和7年3月作成